

は議員獲得以上の重大なものであった。

十月、各府県市議戦に對しては鈴木楯夫、長瀬繁太郎、西浦宇吉、横山孫作の四君を公認擁立を、本部よりも鈴木、龜井兩代議士外十名の應援辯士を特派し、善戦結果全候補當選を期して居た處横山君の惜敗にて三名の當選者を獲得するに到つた。

續く十一月の八王子市議には二名立候補の處、森田喜一郎君一名當選せしことは別に東京府支部聯合會報告通りである。瀬戸市議戦には橋爪樹雄君擁立せしが惜敗。

高知縣會補缺吾川郡(補缺) 岡崎精郎 神奈川縣會中郡(補缺) 宗像伊勢嘉

右兩君各々に擁立して戰つた。高知縣補缺戦には龜井代議士、大島新一君、瀧川末一君、龜田一郎君等の應援で必勝を期したが惜しく敗れた。又神奈川縣會補缺は幾分後れの氣味あり惜敗す。但し前回選舉戦の倍加された大衆動員に成功したことゝの充分な意義をみとめなければならぬ。後半期報告最後に議員數及我黨所屬議員總數表を左記の如く示す。

後半期(自昭和四年六月至昭和四年十一月)議員獲得數

縣別	當選者數			計	愛知	東京
	市	町	村			
大阪	一一	一一	一一	一一	三	一
兵庫	一一	一一	一一	一一	一	一
山梨	一一	一一	一一	一一	一	一
計	一一	一一	一一	一一	三	一

議員獲得數

現任舊議員數 獲得新議員數

衆議	四	四
道府縣議	七	七
市議	一一	一一
町議	二	二
村議	二	二
計	三六	三六

所屬議員總數表

縣別	衆議	道府縣	市會	町會	村會	計
北海道						
岩手縣				二	三	五
秋田縣				二	三	五
山形縣				二	三	五
宮城縣				二	三	五
福島縣				二	三	五
栃木縣				二	三	五
群馬縣				二	三	五
埼玉縣				二	三	五
計				二	三	五

縣別	衆議	道府縣	市會	町會	村會	計
東京府						
神奈川縣						
新潟縣						
富山縣						
福井縣						
長野縣						
滋賀縣						
山梨縣						
静岡縣						
愛知縣						
三重縣						
京都府						
大阪府						
兵庫縣						
和歌山縣						
岡山縣						
廣島縣						
山口縣						
徳島縣						
高知縣						
福岡縣						
長崎縣						
合計						

(昭和四年十二月一日現在)